陸上競技　新人戦県大会

伝スポ

松浦衣吹 九州大会出場

800m優勝

見せた意地の走り

伝習館スポーツ

第１５号
令和４年９月
伝習館高等学校
広報・中学募集課

第４４回福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会兼第４０回全九州高等学校新人陸上競技対校選手権大会福岡県予選大会は、９月１７日、２０日に博多の森陸上競技場でおこなわれ、８００ｍで松浦衣吹（２年宅峰中出身）が優勝し、九州大会への出場を決めた。

また、４×４００ｍリレー（松浦・松延・ジェンキンズ・米盛）は予選で伝習館記録を塗り替える走りを見せ、九州大会出場を狙ったが、決勝では惜しくも６着となった。砲丸投では小宮圭翔（２年橘中出身）が１投目に伝習館記録を更新し６位入賞を果たした。

ラスト５０ｍ勝負

逆転優勝！

午前中の予選では、順調な仕上がりを見せて１組の１着で通過した。決勝のライバルとなるのは、予選トップタイムの近大福岡高の井本遙生（２年）。インターハイ県予選では井本が４位、松浦が６位だった。

松浦は、「絶対に優勝する」と心に決めてスタートラインに立った。７コースからスタートした松浦は、落ち着いてセパレートコースを走る。第２コーナーを抜けた後のオープンレーン区間に入ってからのポジション争いも、後方で無駄な力を使わない。４００ｍ地点は６位の通過で後方からの仕掛けのタイミングを伺う。

残り３００ｍで松浦が一度目の仕掛けを行うと前方の選手のペースが上がった。残り２００ｍでは実力のある井本がトップに上がり、逃げ切りを図る。松浦はまだ４番手。直線に入って、残り１００ｍ、井本との差が開く。松浦は、３位の選手を交わしスピードを上げる。２位の選手も交わし残り５０ｍ、少しずつ差が縮まった。さらにスピードを上げる松浦。ゴール直前追いつくも、ほぼ同体でのゴール。

速報の電光掲示板は、１着井本遙生（近大福岡）の表示。しかし、すぐに確定後訂正され、１着松浦衣吹（伝習館）と点灯した。差は０秒０６だった。

陸上競技

〈男子〉
◀１００ｍ
予選
３組６着　松延柊哉②　敗退
１１秒２２
◀２００ｍ
予選
１組４着　米盛葉月①　敗退
２２秒５５
２組７着　松延柊哉②　敗退
２３秒０８
◀４００ｍ
予選
１組４着　松浦衣吹②　敗退
５０秒８７
３組３着　米盛葉月①　敗退
５０秒４２
◀８００ｍ
予選
１組１着　松浦衣吹②　進出
１分５８秒２２
決勝
１着　松浦衣吹②
１分５５秒９５
◀４×４００ｍＲ
予選
２組２着　伝習館　進出
松浦・松延・ジェンキンズ・米盛
３分２２秒５７（伝習館記録）
決勝
６着　伝習館
松浦・松延・ジェンキンズ・米盛
３分２４秒６６
◀砲丸投
６位　小宮圭翔②
１２ｍ６１（伝習館記録）

〈女子〉
◀４００ｍ
予選
３組７着　荒巻寧音①　敗退
１分０４秒２３
◀１５００ｍ
予選
１組８着　進藤咲花②　敗退
５分１５秒７５
◀１００ｍＨ
予選
３組６着　大坪綾乃②　敗退
１７秒９５
◀４×４００ｍＲ
予選
３組６着　伝習館　敗退
目野・荒巻・大坪・進藤
４分２８秒９５

城東に敗退

野球

痛恨！

四死球からの失点

第１５１回九州地区高校野球福岡南部大会
１７日　桧原運動公園野球場
３回戦

伝習館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福工大城東	0	0	1	0	3	0	1	2	7

（８回コールドゲーム）

		打数	安打	打点
下水増内見原巻田尾	②①①②②②②②	3	1	0
		2	0	0
		3	0	0
		3	1	0
		2	0	0
		3	0	0
		3	1	0
		3	0	0
		2	0	0

投	木下
捕	清水
一	豊増
三	竹内
遊	酒見
二	木原
右	荒巻
中	土田
左	村尾

福工大城東は５回、伝習館の木下翔太郎（２年高田中出身）、酒見啓汰（２年大川桐英中出身）両投手から５四死球と犠打、安打をからめ３点を加点し試合を有利に展開した。その後も失策に乗じて得点し、８回コールドゲームで勝利した。

伝習館は、序盤は木下・竹内駿輔（２年柳城中出身）のバッテリーが緩急をつけた配球で、相手打線に的を絞らせない好投を見せたが、５回に制球を乱して失点したのが悔やまれる。打線は相手投手の１３０㎞を超える速球に粘り強く対応して、４回に無死一二塁のチャンスを作ったが、三・四・五番が打ち取られた。後半は変化球中心の配球に、凡打の山を築かされた。

伝習館は令和５年度に２００周年を迎えます

文武両道は「自らチャンスを作り出すこと」！